

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

本を通して知る、新しい世界
サマーセミナー2025
新しい国民的・民主的共同をつくろう

6、7面
3面
10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsins@dylj.or.jp

恒久的な和平には 「2 国家解決」が不可欠

2 年間のガザの惨状

（ガザ保健当局、国連調査委員会の報告書などより）

病院で確認された死者数
6 万 7 0 0 0 人以上

行方不明者
9 5 0 0 人以上

負傷者
1 6 万 9 0 0 0 人以上

戦闘開始前
平均寿命
7 5 ・ 5 歳

1 年間

平均寿命
4 0 ・ 5 歳

死者のうち 少なくとも

4 6 % が女性と子どもで
8 3 % が民間人

イスラエル軍は爆発物 20 万トン以上を投下し、ガザ地区の約 9 割を破壊。通常の作戦で使われる爆弾としては最大級の破壊力を持ち、米軍が IS（イスラム国）掃討作戦で一度だけ使ったとされるものと同規模の爆弾を、開戦初期だけで 200 発も使用

病院・医療センター 136 施設を破壊。住宅 41 万 8000 棟以上を全壊、または居住不能に。農地の 94 % を破壊し、漁業も壊滅。イスラエルによる攻撃で社会、経済、生活の基盤が崩壊

地上侵攻などの影響で、砲弾の被弾により手足を切断せざるをえない子どもが急増。ガザ地区はすでに人口比で世界最多の小児切断者を抱え、約 4000 人がイスラエルの爆撃で手足を失っている

パレスチナ自治区

1993年の暫定自治原則宣言（オスロ合意）や、94年の先行自治合意（ガザ・ジェリコ合意）などを受けて、パレスチナ解放機構（PLO）がパレスチナ暫定自治政府を設立し、最終的に、ヨルダン川西岸地区およびガザ地区において自治を開始。この両地区をパレスチナ自治区と呼ぶ。

ハマス

1987年に、イスラム主義運動家であるヤシン師がガザ地区を中心に創設したイスラエルに対する抵抗組織。2006年1月、国会にあたるパレスチナ立法評議会選挙で過半数の議席を獲得し、一時、パレスチナ自治政府の内閣を主導していたが、07年6月にガザ地区を武力掌握し、同内閣はアッパース・パレスチナ自治政府大統領により解散させられる。ガザ地区を実効支配している。

2023年10月7日のハマスによるテロ攻撃は強く非難すべきですが、2年間も続いたガザ地区への報復攻撃は、半世紀以上におよぶこれらの国際法違反の上に積み重ねられた暴挙であり、それ自体が国際法違反の暴行です。

（2面につづく）

10月8日（日本時間9日）、イスラエルとパレスチナ自治区ガザ地区のイスラム組織ハマスが停戦合意を結びました。2年にわたって続いたイスラエルによるガザでのジェノサイド（集団殺害）を終わらせるための重要な一歩となりうる前進です。停戦合意に先立つ9月12日、国連総会はパレスチナを国家承認し、イスラエルとの共存を図り、中東における和平を実現しようとする「2 国家共存」を支持する「ニューヨーク宣言」を国連加盟国の賛成多数で採択しました。日本は採択に賛成はしたものの、パレスチナは国家承認は見送っています。停戦合意がなされた下で、パレスチナ問題の解決の展望と、問題に対する日本政府の姿勢について考えます。

（塩田悠玄記者）

ガザ 停戦合意へ

米国提案計画で両者が 停戦合意

イスラエルとハマスは、トランプ米大統領が示したパレスチナ・ガザ地区に関する計画の「第1段階」で停戦合意しました。今回合意したという第1段階の詳細は明らかにされていません（10日時点）が、トランプ氏は自身のSNSで、ハマスが拘束しているイスラエル人の人質は全員解放さ

国連決議を無視し続け てきたイスラエル

2年間も続いたガザ侵攻の背景には、「パレスチナ・イスラエル問題」があります。それは、地中海に面する東アラブのパレスチナ（地名）に「ユダヤ人の国とアラブ人の国（パレスチナ・アラブ人の国の双方をつくる」ことが約束されたのに、ユダヤ人国家イスラエルが建国された一方で、パレスチナ国家ができないという問題です。

67 年の戦争以降の 占領が転機

イスラエルとアラブ側の対立を決定的にしたのは、イスラエルがエジプト、シリア、ヨルダンに先制攻撃した1967年6月の第三次中東戦争です。イスラエルは、エジプトからシナイ半島とガザ地区、シリアからゴラン高原、ヨルダンからヨルダン川西岸地区と東エルサレムを奪い、占領を始めた。これ以降、イスラエルは58年以上もこれ



国連分割案（1947 年）



第一次中東戦争後
（1949 ～ 67 年）

